

祈りの優先

ホープ・チャペル所沢
第一テモテへの手紙 2:1-7 (薫)

「そこで、まず初めに、このことを勧めます。すべての人のために、また王とすべての高い地位にある人たちのために願い、祈り、とりなし、感謝がささげられるようにしなさい。それは、私たちが敬虔に、また、威厳をもって、平安で静かな一生を過ごすためです。」
(第一テモテ2:1-2、新改訳)

序文

「まず初めに」という意味は、第一に優先されていることを指します。イエス・キリストの教会の集まりにおいて、最優先されるべきは祈りです。なぜなら、私たちが祈りにおいて神様とお会いする場所は「すべての国々のための祈りの家」であるべきという神様の意図からも分かるように(参考：伊 6:7、マタイ 21:13、マルコ 11:17、ルカ 19:46)、祈りが最も重要なのですが、2節でパウロがテモテに説明したように、それは「私たちが敬虔と威厳をもって、平安で静かな一生を過ごすため」にも役立つことだからです。

1. **まずは初めに祈らなければなりません。** (1-2 節)
 - ア) すべての人のために、願いと祈り、とりなしと感謝が捧げられるべきです。
 - イ) 人間の権力者(総理大臣・大統領・CEO・司令官・上司など)のために祈りましょう。
2. **他の人のために祈ることは良いことであり、神様を喜ばせます。** (3-4 節)
 - ア) 嘆願し、神様を待ち望み、とりなしをし、感謝の祈りを捧げることは良いことです。
 - イ) なぜなら神様がすべての人々が悔い改めて救われてほしいからです。
3. **すべての主であり救い主であるイエス・キリストの御名により祈ります。** (5-7 節)
 - ア) 神様は唯一であり、神と人との仲裁人もただ一人イエス・キリストです。
 - イ) だからこそすべての人々のために、イエスの御名により父なる神様に祈ります。

結論

二人三人がイエスの御名により集まる時、他に何もしなくても祈りましょう。

私たちの祈りと学び、話し合いと応用のために

- 1) 1-2 節の中の「祈り」を描写することばの意味合いを学びましょう。
- 2) ここで思い出されたこと、あるいは新たに学んだことを話し合ってください。
- 3) 皆さんの住んでいる町と国の、それぞれの権力者のために今週祈りましょう。

111608hctj